発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人　平島敏治

春闘統一行動擴がる
合言葉はゼロ返上
私鐵は戦後最大の実力行使

三月二十六日より行われた私鉄の統一交渉は、東急、名鉄の妥結にかかわらず、日程連に後押しされている私鉄大手の経営者は相変らず千円を主張あくまで千円の春闘相場をつくり出すべく、交渉は進展せず、二十七日大手の二十四時間ストは決行された。また公企職停委も二十六日委員会を開いたが、使用者側委員は前回同様の八〇〇円の定期昇給を主張、労働者側は三〇〇円のベースアップを主張、公益委は定期以外一五〇―二〇〇円の調整給ということで、これもまとまらず、全運、全電通それぞれ二十七日職場大会を実施した。合化も二十四時間ストに突入、炭労、全港湾のストと二十七日は各単産の統一行動が高まり、四月二日の最賃法制化の統一行動を控え、ようやく春闘の波も高まつてきた。

動かぬ石炭
北海道

北海道の全港湾では、小樽、室蘭函館、留萌支部は二十一日二十四時間スト、二十二、二十三、二十四日七十二時間ストを実施。更に二十五日以降無期限ストに突入した。この圧力の中で雑貨部門は二十五日一、一〇〇円プラス一時金（三、〇〇〇円）の回答を行い、二十五日妥結した。しかし石炭部門は石炭業者の圧力が、依然として零回答でストを続行している。このため各石炭積出港は機能を喪失し、石炭引取り汽船も退船したまた到着列車は積卸しが出来ず、石炭を積んだまま港湾に置かれている。このため重点スト突入支部は、五地区（錦台防、鳴生、平、緑ガ丘、添生）地区闘争本部を設以外の炭鉱の石炭輸送は困難となり、山元貯炭を行なつていたが、これも困難となり、鉄道沿線貯炭を始めているという。

炭労の各支部より各港湾にスト破り防止のための看視ピケ隊を派遣している。

交流情宣で徹底
山野

重点ストに突入している三井山野は、連日交流デモ、労働歌練習を行つてさらに団結を固めているが二十八日午前九時三十分より山野グラウンドで決起大会を開催する嘉飯山炭地共よりは各支部その他の福岡地区の大手九共闘支部よりそれぞれの大会に参加、交流を行うことになつている。また西日本ブロック共闘各単産も当日この大会に参加するが、全運は二割休暇の動員で積極的交流を指示している。

また二十五日、二十六日は西鉄労組ニュースカー、二瀬労組ニュースカーが交流教宣、二十六日より三十一日まで田川、三池労組のニュースカーが交流教宣を実施する

保安要員転用に抗議
高島

高島労組は十九日、決起大会、二十日山元闘委を開いて指令確認を行うとともに、二十一日以降の態勢を終了した。スト突入以来六地区、二寮に地区闘争本部を設け、交流デモ、労働歌練習などを実施している。

二十四日決起大会を開いて、会社側に大衆行動をもつて「保安要員を一方的に会社側が転用したことに対する抗議」を行つた。この際所長、副長等は在坑しているにもかかわらず「長時に行つて不在」と居留守をしたことが、抗議中に判明、その不誠意を更に追及し、遂に所長に陳謝をさせた。

居住区の情宣交流
戸畑

崎戸支部では二十一日、一坑、二坑の二カ所で全員参加の決起大会を実施し、指令を確認し更に闘争の決意を固めた。

二十二日以降毎日各地区毎に集合労働歌の練習を行い、その後、指導委員等執行部と各地区に分かれ、それぞれ常会を行い、交流教宣を行つている。

職場大会など

4月2日最賃制統一行動

総評は最低賃金制制定闘争およびILO条約批准闘争をすすめるため、四月二日につぎのような内容で全国的統一行動を行うことをきめた。各単産は勤務時間外職場大会を最低とする実力行使。各地方地区共闘は実力行使にあわせて何らかの統一行動を実施する

山川均氏死去

社会主義運動の先達

日本社会主義運動の先達であつた山川均氏が二十三日胃ガンのため死去した。七十七才。山川氏は岡山県倉敷市の出身で同志社中学中退後、商店員、平民新聞記者などをしながら社会運動に従事した人である。明治三十九年に片山潜、堺利彦氏たちの日本社会党に入党大正十二年には日本共産党の創立に参加したが、当時山川イズムとして社会主義理論をリードしたことがあつた。その後労農派として共産党をはなれ、戦後は民主人民連盟を提唱しその議長となり、また社会主義協会を指導して文筆活動を続けていた。著書は「ある凡人の記録」「日本社会主義運動史」「昔と今―労働運動のあゆみ」などがある。

文化資金 統一闘争で
賃闘終了後に交渉開始

昨年十二月四日西鉱連執行委員会では、三十三年度上期の西鉱連三山文化資金問題について討議した結果、西鉱連は定減比例式であり北三連は人当方法をとつており文化資金に異常な不平等が認められた。

これまで数回西鉱連としては九北統一闘争を組むよう要請していたのであるが、これが実現していないため、昨年末に行われた三鉱連臨時大会に提案したのである。

大会ではこの動議を審議した結果九北は地理的条件が多少異るといつても、企業内の格差のアンバランスを確認、六山統一闘争を行つて前進をはかることに決定した。

だが、北三連が三十三年上期分まで協定しているので、三鉱連としては下期分から闘いを組むことになつた。

本年一月二十四日西鉱連執行委員会では、大会の決定にもとづいて文化資金闘争に関する各山の大衆討議の結果を集約したが、一月末からの三鉱連の機械化合理化問題二月から三月にかけての炭労の賃金闘争があるなど時期的にかち合い、なおこの文化資金闘争は容易な問題でないと判断して、交渉の時期は機械化闘争が山元（三池）に入る前に執行委で判断して決定することになつた。

要求額の検討を行つたが、北海道の妥結した人当額と妥結時の一時金と各山操作している別ワク金を全部含めた人当五三三円を要求額として決定している。

実力を背景に

三山ではこの闘いが容易でないものであり、実力を背景とした交渉でなくてはならないことを認め、スト権の無記名投票を実施し闘争態勢を確立しているが、三池は現在準備中である。

去る三月一日の西鉱連執行委員会では、闘争をいつ起すかと情勢を分析した結果、賃闘終了後に延期し、交渉時期は機械化との関連もあるのでこれも賃闘終了後に執行委員会で決定することになつた。このため要求書を提出し、会社に十分検討期間を与えて聞くことにした。三月十二日要求書を提出、説明を行つている。

前進
カンパ額の徴収について

炭労は去る二十一日より十五支部に対し、無期限の重点ストを指令し、これら十五支部のスト突入組合員に対して、一日約二〇五円の資金カンパを指令した。勿論これらスト突入支部の保安要員の数がはつきりするまで確定的な金額の数字は出ないわけであるが、過去の例からして多少の変動はあつても、二〇五円という数字にそうくるいはないといつている。

カンパ部隊としてのわれわれ三鉱労組は、スト突入支部と同様、カンパをするという立場で、炭労の長期闘争の中の一環であることを認識しなければならない。

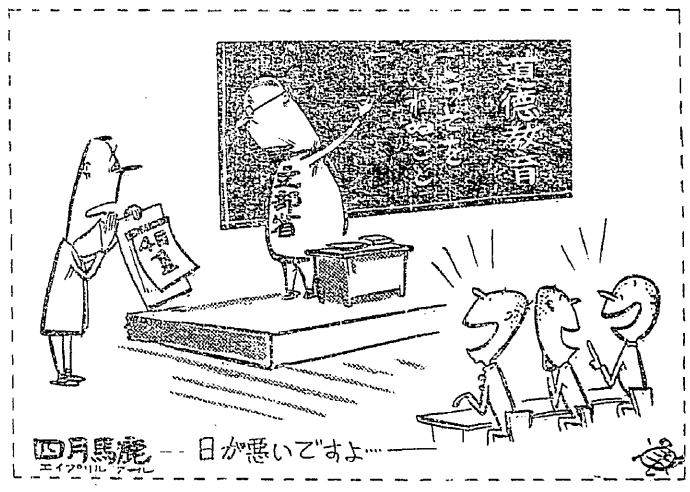
最近、組合員や家族も含めて、聞くとさわるとこのカンパ金の問題でいろいろと論議されているようである。その中心的な話題はカンパそれ自体に対しては異論はないが、この金をどのようにして各人が負担するのか、また給料から差ひかれるのか、労金の積立金から出すのか、もし給料から差ひかれるとしたらどの位差ひかれるかといつた論議が多いようである。

以上のような点を総合すると、早くこの結論を出すことが組合員の不安感を取除き、すつきりとして長期闘争に堪え得る態勢が確立されるものと考え、執行部はあらゆる角度より検討をした結果、つぎのような方針を確立し、委員会に提案、大衆討議に附することとなつた。

まず第一点として、各人の負担額をどのように割当てるかということで、権利義務が平等という立場と、資金要求額も同一であるから、全組合員が均等に負担すべきであるという主張と現在の生活実態から低所得の立場を考慮し、しかも賃闘によつて獲得される賃金は職間ウエートで配分されるので収入比で負担すべきだという主張があつた。しかし何れの主張もそれぞれの立場から判断した場合、一応の理屈はあるが、最終的には低額所得者の立場もまた高額所得者の立場も尊重して、組合費の徴収方法が一番最適であろう、ということになり、均等割一〇〇円、残り一〇五円は所得比ということになつた。この場合の所得とは税金の対象になる所得であつて、公傷病手当などは所得から除外されるわけである。

以上のようにして各人の負担額が決定されたら、これを各人の労金積立金の中から出し、もし積立金の無い人や不足する人は、余る人の分から借用して、今回は直接組合員の給料よりの差ひきは行わない方針である。積立金の無い人や不足した人の分は闘争の推移をみて返済方法を決定するように考慮している。

右の方針は、各支部委員会で提案し、予備討議の後、大衆討議に附し次回の中央委員会で最終決定を行う方針である。全組合員の理解ある討議と意志の統一がゼロ回答の厚い力べを破る前進であろう



【時のことば】
春闘相場

二十一日、私鉄の賃上げ闘争に対して中労委中山会長が提示した斡旋案千円のこと。その根拠は私鉄の過去三年間の給与の上昇率平均をとつている。この調子で公労委の調停案が示されると、八百円程度の定期昇給がある公労協関係組合は〝ゼロ回答〟になつてしまうひいては炭労、港湾、合化など民闘労組の相場もきまつてしまうことになり、春闘トップ・バッターの私鉄の責任や大である。そのうえ私鉄の調停案には「将来の安定的な賃金制度確立のために研究機関を設立する」という付帯事項があるのだから〝金額〟の相場より〝制度〟の相場といつた見方も生まれるわけだ。

政治の貧困と青年の死

岸総理大臣は、三悪追放を一枚看板にして阿呆の一つおぼえで開口すれば、貧乏と汚職をなくすると表看板はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

岸総理が昨年シンガポールえ行つた時、猫目宝石を夫人へ土産に買つて来たと云われた四百十万円とか、愛知官房長官は四万円と云うし、真相は別として国費を使つて戦争について謝罪に行つた事は間違いなく、物見遊山の気持で国民の血税を簡単に平気で使う総理大臣なら三悪追放を口にする資格はないはずである。去る四日から開会されている本年度予算案の内容を見ると、実に矛盾点が多い。特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

岸総理が昨年シンガポールえ行つた時、猫目宝石を夫人へ土産に買つて来たと云われた四百十万円とか、愛知官房長官は四万円と云うし、真相は別として国費を使つて戦争について謝罪に行つた事は間違いなく、物見遊山の気持で国

▼みんなが云いたい事をみんなが聞くべきだ▼一口が一生を明るくする▼天性は苦労の中から

特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容を見ると、実に矛盾点が多い。特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

岸総理が昨年シンガポールえ行つた時、猫目宝石を夫人へ土産に買つて来たと云われた四百十万円とか、愛知官房長官は四万円と云うし、真相は別として国費を使つて戦争について謝罪に行つた事は間違いなく、物見遊山の気持で国民の血税を簡単に平気で使う総理大臣なら三悪追放を口にする資格はないはずである。去る四日から開会されている本年度予算案の内容を見ると、実に矛盾点が多い。特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

岸総理が昨年シンガポールえ行つた時、猫目宝石を夫人へ土産に買つて来たと云われた四百十万円とか、愛知官房長官は四万円と云うし、真相は別として国費を使つて戦争について謝罪に行つた事は間違いなく、物見遊山の気持で国民の血税を簡単に平気で使う総理大臣なら三悪追放を口にする資格はないはずである。去る四日から開会されている本年度予算案の内容を見ると、実に矛盾点が多い。特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

岸総理が昨年シンガポールえ行つた時、猫目宝石を夫人へ土産に買つて来たと云われた四百十万円とか、愛知官房長官は四万円と云うし、真相は別として国費を使つて戦争について謝罪に行つた事は間違いなく、物見遊山の気持で国民の血税を簡単に平気で使う総理大臣なら三悪追放を口にする資格はないはずである。去る四日から開会されている本年度予算案の内容を見ると、実に矛盾点が多い。特に軍人恩給予算では、恩給亡国とまでいわれている本年度予算案の内容はなかなか立派で、裏からのぞけば矢張り待合政治は根を断つていないのが現状である。元旭化成工員が失職して若い男女の心中事件が十日発生したが、貧困政治がもたらした悲劇のかずかずは、企業合理化と云う美名の下に労働者は首を切られ、昨年の金融引締政策によつて中小企業は相次いで倒産、経営者は借金苦のため一家心中をしたり、報道機関が伝える事も珍らしくなく、こんな事では再建日本の明るい政治とはいえない。

カンパは闘争積立金で

ここ二、三日、寄るとさわるとこの問題で各職場は、まさに噴々囂々の有様です。組合員の意志を委員長を通じて次期委員会で検討、決定を計るというようなことでしたけれども、すでに執行部提案ができているという噂（これは労金より借入れ後日、給料より除々に差引くというようなものです）またはその他であります。

終極の目的を同じくする共闘組織の中で、スト突入支部員も、私たちの給料も同一であるべきことは論を待ちません。しかし私たちは私たちなりにそのカンパ方法について一言提したいのです。

私はカンパによつて、こんなうるさいことになるだろうとは考えもしなかつたのです。と申しますのは、私たちには相応の積立金がある。それを出すものとして、検討とか論議とかいうそのものがおかしい程に思つていたからなのです。仮りに直接私たちの給料袋から差引く場合、根本的な同一収入案によれば、仕事をしているものとしていないものの生活費、栄養費が同一であるということになり除々に差引くと致しましても、仕事をしたものばかりが借金をするという結果になるのです。これに当らないとは申せはしませんが比較的に楽なものは〇作業者ばかりなのです。

勿論カンパに対して不満を訴えているものは一人もありません。その方法如何にあるのです。争議が長期化し、積立金でまかないきれなくなつた時はまた別の話ですせめてその間だけでも直接差引くようなことはしないで下さい。積立金の意味が疑われます。重ねてお願い致します。

（三川　渡辺　務）

国会審議中居眠りしたり、実に議員意識を忘れ一個の職業化した議員の多い事には驚くの外ない。

こんな議員の追放に政治意識高揚につとめ、選挙に当り正しい明るい政治力旺盛にして実行力ある候補者を選出する事がストをなくする方法にも貢献するものである。

本所支部物資課　大橋横一